

育みたい。食べ物を大切に思う心



世界では、世界人口の約11%に当たる8億1500万人(※1)もの人が、食料を十分に得ることができず栄養不足の状態です。一方で、日本は食料自給率が38% (カロリーベース) (※2)と、約6割を外国からの輸入に頼っているながら、「食品ロス」(食べられるのに捨てられてしまう食品)が年間で646万トン(※3)発生しています。

世界食料デー (World Food Day) は、1981年に国連が「世界の食料問題を考える日」として制定した日です。食べ物の大切さや自分たちができることについて考える機会にしていいただければと思います。

※1 : 2016年 (国連WFP)

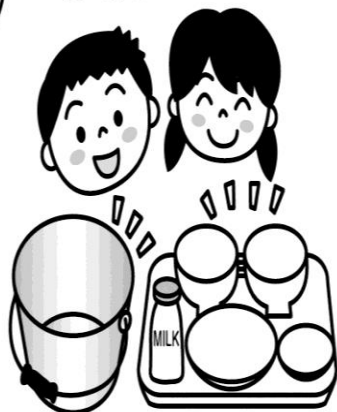
※2 : 2016年度 (農林水産省)

※3 : 2015年度推計値

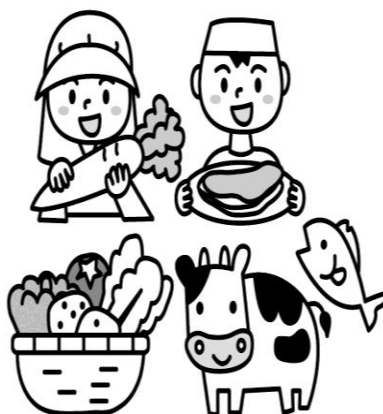
(農林水産省・環境省)

私たちに
できること?

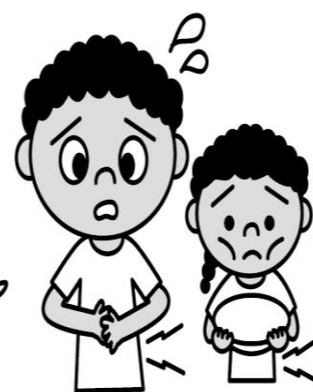
食べ物を無駄に
しない



地域で生産された
食べ物を選ぶ



世界の食料問題に
目を向ける



出典 ; 学校給食

給食では、だし汁とるのに使った削り節とだし昆布を使って、「エコふりかけ」を作ります。



※ 1 : 2016年 (国連WFP) ※ 2 : 2016年度 (農林水産省) ※ 3 : 2015年度推計値 (農林水産省・環境

※ 1 : 2016年 (国連WFP) ※ 2 : 2016年度 (農林水産省) ※ 3 : 2015年度推計値 (農林水産省・環境